

数値予報課報告・別冊第 64 号 正誤表

最終更新日：2018 年 5 月

ページ	誤	正
第 2.6 節 p.58 右 l.16	また、ロジスティック <u>回帰</u> の場合には	また、ロジスティック <u>関数</u> の場合には
第 2.6 節 p.58 右 l.19	Kumar (2017) は活性化関数にロジスティック <u>回帰</u> を	Kumar (2017) は活性化関数にロジスティック <u>関数</u> を
第 4.4 節 p.132 右 l.29	、前日との気温差である。	、前日との気温差、 <u>中・下層雲量</u> である。
<p>第 4.9 節 p.191 図 4.9.5 図中の棒グラフ（灰色）が示す事例数</p>	<p>視程ガイダンスと視程確率ガイダンスの地点別検証（閾値1600 m）</p>	<p>視程ガイダンスと視程確率ガイダンスの地点別検証（閾値1600 m）</p>